

講義名	英語 A (総合)			
担当教員	池田 俊之			
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

主題と概要 高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成します。 共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。 練習後、教材で使われた単語・熟語・文法・構文等の確認作業を行います。時間に余裕がある場合、それぞれの項目に関連する練習問題をさらに解いていきます。
--

到達目標 共通教材・基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。 個別教材：共通教材に出てきた単語・熟語・文法・構文等を完全に理解できるようになる。 この科目は対面授業を前提としており、オンデマンドでの開講はしません(オンデマンドでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であるため)。履修登録をする際には十分注意するように。但し、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生が出た場合は、その学生はZoomを使って授業に参加(授業と同時進行)してもらいます。
--

提出課題 オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めることがあります。
--

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック 共通教材：登壇の小テスト問題について授業内で解説します。 個別教材：こちらで用意したプリントに於ける解説をします。
--

評価の基準 出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50%とします。共通教材期末テストの得点を25%とします。定期試験の得点を25%とします。
--

履修にあたっての注意・助言他 授業には積極的に参加してください。英語の基礎力(語彙および文法)を高めるよう努力してください。
--

教科書 ・使用しない。					
-----------------------	--	--	--	--	--

プリント資料及び参考文献 必要に応じて授業中に指示します。

授業計画 1 Moodle共通教材ガイダンス+授業の進め方、成績についての説明 2 Moodle共通教材 Set 1 / Set 1の単語・熟語・構文・文法(現在・過去・未来時制)についての確認 3 Moodle共通教材 Set 2 / Moodle Quiz Set 1 + Set 2の単語・熟語・構文・文法(自動動詞の意味と使い方)についての確認 4 Moodle共通教材 Set 3 / Moodle Quiz Set 2 + Set 3の単語・熟語・構文・文法(形容詞・副詞)についての確認 5 Moodle共通教材 Set 4 / Moodle Quiz Set 3 + Set 4の単語・熟語・構文・文法(現在・過去・未来完了)についての確認 6 Moodle共通教材 Set 5 / Moodle Quiz Set 4 + Set 5の単語・熟語・構文・文法(受け身)についての確認 7 Moodle共通教材 Set 6 / Moodle Quiz Set 5 + Set 6の単語・熟語・構文・文法(不定詞)についての確認 8 Moodle共通教材 Set 7 / Moodle Quiz Set 6 + Set 7の単語・熟語・構文・文法(疑問詞と関係詞)についての確認 9 Moodle共通教材 Set 8 / Moodle Quiz Set 7 + Set 8の単語・熟語・構文・文法(動名詞)についての確認 10 Moodle共通教材 Set 9 / Moodle Quiz Set 8 + Set 9の単語・熟語・構文・文法(現在・過去・未来進行形)についての確認 11 Moodle共通教材 Set 10 / Moodle Quiz Set 9 + Set 10の単語・熟語・構文・文法(前置詞の基本用法)についての確認 12 Moodle共通教材 Set 11 / Moodle Quiz Set 10 + Set 11の単語・熟語・構文・文法(比較級)についての確認 13 Moodle共通教材 Set 12 / Moodle Quiz Set 11 + Set 12の単語・熟語・構文・文法(熟語表現)についての確認 14 Moodle Quiz Set 12 15 Moodle共通教材期末テスト

授業形態(アクティブ・ラーニング)								
<table border="1"> <tr> <td>ア:PBL(課題解決型学習)</td> <td>イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)</td> </tr> <tr> <td>ウ:ディスカッション、ディベート</td> <td>エ:グループワーク</td> </tr> <tr> <td>オ:プレゼンテーション</td> <td>カ:実習、フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td>キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)</td> <td></td> </tr> </table>	ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク	オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク	キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	
ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)							
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク							
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク							
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)								

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 共通教材：予習：次の授業で解説されるセット問題をRyukaポータル上のモジュールにアクセスして解く。復習：授業で解説を聞いた後、次週のクイズ(小テスト)に向けてそのセット問題を復習する。課題：インターネット上の指定したサイトでの英単語テストを受験する・合わせて4時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は商学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 LMS(Learning Management System)であるMoodleをコール教室、および(または)、授業外の自主学習に利用している。

実務経験の有無及び活用

備考
